

平成20年7月30日

## ご参考資料

株式会社 トムス・エンタテインメント

(コード番号 3585 名証第2部)

## 連結及び単体業績概要

(平成21年3月期 第1四半期)

## ・連結第1四半期業績の概要

【単位:百万円、(%)】

項目	平成21年3月期 第1四半期	平成20年3月期 第1四半期	対前期比較	通期(21/3期) 予想
売上高	2,966 ( 100.0 )	3,210 ( 100.0 )	△ 243 ( △ 7.6 )	13,630
アニメーション事業	2,001 ( 67.5 )	2,032 ( 63.3 )	△ 30 ( △ 1.5 )	11,360
アミューズメント事業	964 ( 32.5 )	1,177 ( 36.7 )	△ 213 ( △ 18.1 )	2,270
営業利益	△ 84 ( △ 2.9 )	△ 133 ( △ 4.2 )	+ 48 ( - )	680
経常利益	△ 30 ( △ 1.0 )	△ 124 ( △ 3.9 )	+ 93 ( - )	700
四半期(当期)純利益	△ 38 ( △ 1.3 )	78 ( 2.4 )	△ 117 ( - )	720
1株当たり四半期 (当期)純利益	△0円92銭	1円85銭	△2円77銭	17円04銭

1. 連結子会社数 7社 持分法適用会社 0社

2. 連結範囲及び持分法の適用の異動

連結 (新規) 1社 (除外) 0社

持分法 (新規) 0社 (除外) 0社

## 《参考》

## 単体第1四半期業績の概要

【単位:百万円、(%)】

項目	平成21年3月期 第1四半期	平成20年3月期 第1四半期	対前期比較	通期(21/3期) 予想
売上高	2,766 ( 100.0 )	3,189 ( 100.0 )	△ 422 ( △ 13.3 )	12,910
アニメーション部門	1,802 ( 65.1 )	2,011 ( 63.1 )	△ 209 ( △ 10.4 )	10,640
アミューズメント部門	964 ( 34.9 )	1,177 ( 36.9 )	△ 213 ( △ 18.1 )	2,270
営業利益	△ 124 ( △ 4.5 )	△ 138 ( △ 4.4 )	+ 14 ( - )	560
経常利益	△ 60 ( △ 2.1 )	△ 120 ( △ 3.8 )	+ 60 ( - )	610
四半期(当期)純利益	△ 27 ( △ 1.0 )	78 ( 2.5 )	△ 106 ( - )	670
1株当たり四半期 (当期)純利益	△0円65銭	1円85銭	△2円50銭	15円85銭

(注) 1. 百万円未満を切り捨てて表示しています。

2. 対前期比較( )内は、比較増減率を記載しています。

【お問い合わせ先】 経理財務部 TEL 03-5325-9111

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場会社名 株式会社 トムス・エンタテインメント  
 コード番号 3585 URL <http://www.tms-e.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡村 秀樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 岡山 仁  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

上場取引所 名

TEL 03-5325-9111

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	2,966	—	△84	—	△30	—	△38	—
20年3月期第1四半期	3,210	14.8	△133	—	△124	—	78	49.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△0.92	—
20年3月期第1四半期	1.85	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	17,947	14,650	14,650	81.2	81.2	345.20
20年3月期	18,960	15,008	15,008	78.8	78.8	353.66

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 14,578百万円 20年3月期 14,946百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	7.50	7.50
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	7,520	—	300	—	310	—	170	—	4.02
通期	13,630	△9.0	680	△22.8	700	△18.8	720	36.2	17.04

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

【注】詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。】

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

【注】詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。】

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 44,153,101株 20年3月期 44,153,101株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 1,919,868株 20年3月期 1,890,768株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 42,260,272株 20年3月期第1四半期 42,548,006株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の連結業績は、売上高29億6千6百万円（前年同期比7.6%減）、営業損失8千4百万円（前年同期は営業損失1億3千3百万円）、経常損失3千万円（前年同期は経常損失1億2千4百万円）、第1四半期純損失3千8百万円（前年同期は純利益7千8百万円）となりました。

売上高では、アニメーション事業においてはTV制作および劇場映画制作の減少により制作収入が減少しました。また、アミューズメント事業においては既存店舗の売上高が前年同期と比べ低調であったこと、また前期3店舗を閉鎖したことによる減少要因もあり、全社合計では前年同期を下回る結果となりました。

利益面におきましては、アニメーション事業においては、利益率の高い販売収入が前年同期と比べ上回ったことなどにより営業利益、経常利益ともに増益となりましたが、アミューズメント事業においては、売上高減少により営業利益、経常利益ともに前年同期を大幅に下回る結果となりました。以上の結果、全社合計は営業損失、経常損失の計上となりました。

<アニメーション事業>

アニメーション事業におきましては、制作収入では地上波TV向け番組制作が前年同期と比べて減少し、また劇場向け作品の売上計上時期のずれなどにより、売上高は8億9千9百万円と、前年同期比17.3%の大幅減となりました。

一方、ロイヤリティなどの販売収入につきましては、前年同期と比べ番組販売やビデオ販売の落ち込みはあったものの、商品化権収入、コンテンツ販売収入、映画販売収入、海外販売収入が伸びたこともあり売上高は11億2百万円、前年同期比16.6%増となりました。

これらにより当事業全体の売上高は20億1百万円、前年同期比1.5%の減収となりました。

<アミューズメント事業>

アミューズメント事業におきましては、当第1四半期に当社としては初めてのボーリング場1店舗を出店いたしました。これにより当第1四半期末現在の店舗数は25店舗となっております。

施設運営収入につきましては、店舗設備の改装を進めるなど収益力の強化を図ったものの既存店舗の売上高が前年同期と比べ約12%減となり、また前期の新規店舗業績が目標を下回ったことなどにより、当事業の売上高は9億6千4百万円、前年同期比18.1%減となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億1千3百万円減少し179億4千7百万円となりました。主な減少の要因は、法人税等税金の支払3億9千9百万円、配当金の支払い3億1千7百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ6億5千5百万円減少し32億9千7百万円となりました。また純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億5千8百万円減少し146億5千万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、第1四半期の段階では通期計画に対する進捗率が低くなっておりますが、計画段階より第2四半期以降に売上・利益の計上を計画しております。

現段階で入手可能な資料に基づき第2四半期以降の業績を検討した結果、現段階では平成20年5月23日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の定率法を採用している資産につきましては、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 繰延資産の回収可能性

繰延税金資産の回収可能性につきましては、当第1四半期連結累計期間における主な税務上の加減算項目を考慮し、前連結会計期間末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

③ 「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を当第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、リース資産が有形固定資産に163百万円計上され、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,240,849	5,222,994
受取手形及び売掛金	1,569,065	2,444,079
有価証券	2,496,061	1,995,120
製品	1,187,933	1,415,543
仕掛品	1,509,014	861,024
貯蔵品	50,306	53,753
その他	507,055	605,225
貸倒引当金	△10,872	△12,596
流動資産合計	11,549,413	12,585,145
固定資産		
有形固定資産	3,600,973	3,217,914
無形固定資産	216,020	206,931
投資その他の資産		
その他	2,832,385	3,200,591
貸倒引当金	△251,530	△249,935
投資その他の資産合計	2,580,855	2,950,655
固定資産合計	6,397,849	6,375,501
資産合計	17,947,262	18,960,647
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,637,450	2,241,909
短期借入金	25,000	37,500
未払法人税等	27,234	426,484
役員賞与引当金	8,145	32,600
賞与引当金	34,187	79,333
その他	910,033	663,831
流動負債合計	2,642,051	3,481,658
固定負債		
退職給付引当金	372,332	360,171
役員退職慰労引当金	79,027	107,755
その他	203,623	2,500
固定負債合計	654,982	470,426
負債合計	3,297,034	3,952,085

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,816,866	8,816,866
資本剰余金	1,806,323	1,806,323
利益剰余金	5,042,358	5,398,082
自己株式	△972,022	△965,154
株主資本合計	14,693,525	15,056,117
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	29,944	30,786
為替換算調整勘定	△144,557	△140,355
評価・換算差額等合計	△114,613	△109,569
新株予約権	71,315	62,013
純資産合計	14,650,228	15,008,562
負債純資産合計	17,947,262	18,960,647

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年6月30日)

売上高	2,966,437
売上原価	2,589,472
売上総利益	376,964
販売費及び一般管理費	
役員報酬及び給料手当	174,218
その他	287,426
販売費及び一般管理費合計	461,645
営業利益又は営業損失(△)	△84,680
営業外収益	
為替差益	38,827
その他	23,979
営業外収益合計	62,806
営業外費用	
長期前払費用償却	3,259
清算予定子会社の管理費用	3,268
その他	2,465
営業外費用合計	8,992
経常利益又は経常損失(△)	△30,866
特別利益	
貸倒引当金戻入額	3,236
特別利益合計	3,236
特別損失	
固定資産除却損	29,325
その他	1,042
特別損失合計	30,368
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△57,998
法人税、住民税及び事業税	18,773
法人税等調整額	△38,015
法人税等合計	△19,242
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△38,756

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	アニメーション事業 (千円)	アミューズメント事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,001,911	964,526	2,966,437	—	2,966,437
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	2,001,911	964,526	2,966,437	(—)	2,966,437
営業費用	1,878,886	992,884	2,871,771	179,346	3,051,118
営業利益又は営業損失(△)	123,024	△28,357	94,666	(179,346)	△84,680

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっている。

2 各事業の主な内容

(1) アニメーション事業……アニメーション作品の企画・制作・販売・配給および輸出

(2) アミューズメント事業……アミューズメント施設の企画・開発・運営

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は179,346円であり、その主なものは、提出会社の管理部門に係る費用である。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	北アメリカ	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	18,959	91,013	135,176	15,064	260,214
II 連結売上高(千円)					2,966,437
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	0.6	3.1	4.6	0.5	8.8

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっている。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北アメリカ……アメリカ合衆国

(2) アジア……韓国・台湾・タイ・マレーシア

(3) ヨーロッパ……フランス・イタリア・スペイン・ドイツ

(4) その他の地域……中南米・ロシア他

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません



「参考」

(要約) 前四半期連結損益計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
区分	金額(千円)
I 売上高	3,210,423
II 売上原価	2,807,078
売上総利益	403,345
III 販売費及び一般管理費	536,889
営業損失	△133,543
IV 営業外収益	17,279
V 営業外費用	8,110
経常損失	△124,374
VI 特別利益	155,928
VII 特別損失	63,650
税金等調整前四半期純損失	△32,096
法人税、住民税及び事業税	11,313
法人税等調整額	△121,971
四半期純利益	78,562

セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	アニメーション事業 (千円)	アミューズメント事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,032,830	1,177,593	3,210,423	—	3,210,423
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	2,032,830	1,177,593	3,210,423	(—)	3,210,423
営業費用	2,069,721	1,063,167	3,132,888	211,078	3,343,967
営業利益又は 営業損失(△)	△36,890	114,425	77,534	(211,078)	△133,543

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっている。

2 各事業の主な内容

(1) アニメーション事業……アニメーション作品の企画・制作・販売・配給および輸出

(2) アミューズメント事業……アミューズメント施設の企画・開発・運営

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は211,078千円であり、その主なものは、提出会社の管理部門に係る費用である。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

	北アメリカ	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	2,231	82,245	131,532	7,481	223,490
II 連結売上高(千円)					3,210,423
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	0.1	2.6	4.1	0.2	7.0

- (注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっている。  
 2 各区分に属する主な国又は地域  
 (1)北アメリカ……………アメリカ合衆国  
 (2)アジア……………台湾・フィリピン・タイ・韓国  
 (3)ヨーロッパ……………イタリア・フランス・ドイツ・イギリス  
 (4)その他の地域……………中南米・アラビア語圏他